

<GINZA SIX 開業6周年 第2弾>

「6」という重要で特別な意味を持つ今年、GINZA SIXは第二幕を迎えます
コロナ前の売上を大きく更新し、開業以来過去最高の年度売上を達成した2022年度商況や
2023年度から新たに始める取り組み、新店舗追加情報に6周年プロモーション情報など

GINZA SIX 6周年情報

銀座エリア最大の商業施設「GINZA SIX」は、2023年4月20日に開業6周年を迎えます。GINZA SIXは、名称の由来である「銀座の誇りと歴史性を引き継ぎ、6つ星級の価値を持った施設」を目指し、銀座に新たな価値や存在をもたらす覚悟と自負を持って開業いたしました。

開業当時の精神を重んじ、「6」という重要で特別な意味を持つ今年、GINZA SIXは第二幕を迎えます。開業から多くの方々、銀座の歴史と文化というブランドに支えられてきました。この6周年からは世界基準のクオリティを体現するという基軸からぶれることなく、常に新しい驚きや発見を創出し、地域を訪れたの方々をつなぐ魅力ある場としての成長を目指してまいります。

本リリースでは、開業以来過去最高年度売上となった2022年度商況、GINZA SIXの第二幕として2023年度から新たに始める取り組みと新店舗追加情報(p3～)、6周年プロモーション情報(p6～)をお届けします。



2022年度商況

コロナ前(2019年度)の売上を大きく更新。開業以来過去最高年度売上を達成

開業より「Where Luxury Begins 世界が次に望むものを。」を追求し続けてきたGINZA SIXは、コロナ禍においても果敢にリニューアルを遂行、常に鮮度・感度の高い商品やサービスの提供を追求してまいりました。その結果、国内の若年層をはじめとする高感度な顧客層に支持され、売上は堅調に推移、2022年度売上は2019年度比で10%強(内、国内売上は45%)増加し、開業以来過去最高の年度売上を達成することができました。(速報値)

特に2022年度は男性20代～40代の客単価・売上が伸長。日常を取り戻す兆しが見える中で、新規ブランドの導入やリニューアルの効果により下期売上が特に伸長しました。また、10月からの入国の規制解除による訪日外国人の増加も年度売上の増加に寄与しました。

<好調要因①> ラグジュアリーブランドの牽引



©Cartier

リニューアルが奏功し、2022年に導入した新規ブランドを中心に新規顧客が増加しました。また、EC市場の成長に伴い店舗の位置付けが変化しており、ものを買うだけの場所ではなく、情緒的にブランドを体感していただくための施設に進化しています。

希少性の高い商品、旗艦店ならではの豊富な品揃え、洗練された空間、パーソナライズされたサービスなどのあらゆる仕掛けにより、ブランドに顧客を惹きつけ、世界観に没入させます。そしてそのような特別感を感じる空間に、路面店と比較して非常にアクセスしやすい「開かれたラグジュアリーであること」が顧客の来店に繋がっています。また、顧客づくりが功を奏しており、顧客に非日常性を感じさせる、ここでしか味わえないイベントやおもてなしを惜みなく継続し、ファンづくりに傾注した結果、特に国内顧客の定着に繋がりました。

(画像上) 2022年9月に新規出店した<カルティエ プティック>の店内

(画像下) <カルティエ プティック>のインタラクティブウィンドウ

＜好調要因②＞ 世界基準のラグジュアリー、新しい消費者志向に適合したブランド・アートがデスティネーションに



GINZA SIXでは2021年に開業初のリニューアルを実施、以来3年間で約70ブランドの導入・改装(内、旗艦店20、新業態12、日本・銀座初32)を行いました。パンデミックの影響下においても、特別を求める高感度なお客様に満足いただけるブランド誘致、他が追従できないような質の高さ、店舗演出を追求しつづけました。希少性の高いブランドや、GINZA SIXでしか手に入らない商品を求めて、お客様が来店されています。



また施設の顔でもある吹き抜けアトリウムのアートも、国内外から足を運んでいただく目的の1つとなっています。SNSで情報を得た方が来店され、また来店された方により情報が拡散されるという連鎖により、多くの顧客がアートを楽しまれています。定期的に掛け変わるアートは、来店された顧客の新たなインスピレーションに繋がり、新鮮な体験に繋がっています。

新しい消費者志向に合ったブランドや他では体験できない唯一性を求める顧客の「デスティネーション(目的地)」になりつつあり、これからも追求しつづけます。



(画像上) <パティスリー GIN NO MORI> プティボワ GIN NO MORIの一番の人気商品

(画像中) 中央吹き抜けアート 《The Departure》ジャン・ジュリアン ©Jean Jullien courtesy of Nanzuka

(画像下) クリスマスシーズンのエントランスアート 《WARMEST WISHES》YOSHIROTTEN

＜好調要因③＞ ボーダーレスで個性を重視する顧客にマッチしたブランド誘致や品揃え



レディス・メンズの両アイテムが購入可能なコンバインの店舗が好調

GINZA SIXには、審美眼に優れ、品質や価値が継続するものを選び、性別・年齢を問わず、何よりも自身のライフスタイルにフィットするかどうかを重要視されている方が多く来店されます。ファッションフロアでは、パートナーとの来店も非常に多く、レディス、メンズのコンバインの店舗が特に好調です。また、細部までこだわった質の高さや、自然体で心地よく居られるアイテムを購入、パートナーとシェアをしてファッションを楽しまれる方も増えています。



また、ビューティフロアでは、フレグランスやパフュームなどは性別・年齢関係なく、自分用やギフトでの購入が増加。直近では、美容に関心の高い男性による美容機器やヘアケアアイテムの購買が顕著に増加しています。

(画像上) <La Boutique Guerlain>

(画像下) <Refa> Refa BEAUTECH DRYER SMART

＜好調要因④＞ パンデミック後の深化と進化

①顧客づくり:コロナ禍の行動制限により来店しづらかった期間にも、オンラインでは到底味わえない高感度のイベントやプロモーション・おもてなしを惜しみなく継続したブランドが好調。顧客ロイヤルティの重要性を再認識する機会を得ました。

②レストランでトキ消費の回復:レストランフロアでは、歓送迎会を再開する企業が徐々に増加しており、プライベートのシーンでも食事にあわせてお酒を複数種オーダーされる方も増えています。特にお昼からアルコールを楽しまれる方が増加している点も特長的です。行動制限がなくなり、アルコールに対しての抵抗が少なくなった事から、お酒を介した交流の場を満喫される方が増加しています。



(画像) <EATALY>

③スポーツ(ゴルフ):コロナ禍で広まったウェルネス志向が継続しており、特にゴルフウェア・グッズは若年層のプレーヤーが増加したことにより盛り上がりを見せています。

④お出かけ機会の増加による行動変容:行動制限の緩和を受けテレワークの頻度の減少、あるいは廃止の企業が増加したことや、外出機会の増加により、デザイン性に優れ、機能性が高く、オンオフの垣根が少ないデザインのセットアップなどのウェアが好調です。

2022年度取り組み報告

GINZA SIXの地域に開かれたイベントの取り組み



GINZA SIXは2022年度、地域への賑わいを創出するため、映画上映、子どもを対象にしたカルチャープログラムやスケート教室など、年間を通じて様々なイベントを実施しました。

7月には、全銀座会・銀実会が主催となり実施したGINZA SIX初の屋上での映画上映イベントへ、2日間で約1,000名の方が来場。クリスマスプロモーションではGINZA SIX初の屋上スケートリンク「Rooftop Star Skating Rink」に、4,000人を超える来場を記録しました。

また、コロナウィルスの影響により、演奏・発表の場が失われた中央区立泰明小学校金管バンド部の皆様にお越しいただき、第6回みゆき通りコンサートを12月に開催。当日は児童約30名、保護者並びに関係者約80名が集まり、保護者・地域の方々に演奏を見ていただく機会となりました。

(画像上) 屋上スケートリンク「Rooftop Star Skating Rink」スケート教室の様子

(画像下) 子ども向けカルチャープログラム「SCUOLA GINZA SIX」の様子



2023年度新たな取り組み

GINZA SIXの6周年にあたる2023年度以降、ストアコンセプトの具現化として様々な取り組みに挑戦してまいります。

①ワールドクラスクオリティ、新しい消費者志向を体現するブランドの導入

2023年度も“Life At Its Best”を体現する新規ブランドの導入・リニューアルを実施、1月にお知らせした12店舗に加え、AMBUSH®がオープンいたします。今年はコロナ禍を経て、各ブランドの投資も活発化、既存店舗のリニューアルも積極的に行われます。

②アート&カルチャーの更なる加速化

2023年春以降は、国内外から銀座へ多くの来街者が見込まれると想定しており、「銀座から世界へ」をテーマに一層の文化・芸術振興・発信を進めてまいります。

〈NEW OPEN/RENEWAL OPEN〉

▼AMBUSH® WORKSHOP GINZA/アンブッシュ ワークショップ ギンザ [3F]

ラグジュアリーとストリートウェアを融合したファッション的アプローチでその名を馳せる日本発ブランド。

AMBUSH®は、ポップアートにインスパイアされた斬新なデザインで、東京ならではの美意識を表現する実験的なジュエリーブランドとしてスタート。特にトレードマークであるPOW!®モチーフは、世界中のメディアで取り上げられました。AMBUSH®は、更にアパレル制作を始動し、ユニセクスクレクションをデザインするまでに発展。2015年にはパリデビューを果たし、YOONとVERBALはBusiness of Fashionの「世界のファッション業界に影響を与えるトップ500人」に2015年から5年連続で、「HYPEBEAST 100」に8年連続で選出されました。2022年、AMBUSH®はミラノファッションウィークでブランド初のランウェイを披露しました。オープニングでは、NIKEとのコラボスニーカーAir Force 1 Low Collectionが登場。

【カテゴリー】 メンズ、レディース、ユニセックス

【出店状況】 銀座エリア初

【業態種別】 旗艦店

【オープン日】 2月28日(火)

<https://www.ambushdesign.com/ja-jp/>



▼ADORE/アドーア [4F]

ワンランク上の満足を求める女性のための360度美しい服

「シンプルなだけではつまらない」をテーマに、ワンランク上の満足を求める女性のための360度美しい服を提案。ここにしかないADORE、日常生活の象徴的なシーンを演出する可変する店舗。OPEN初日限定で、ADOREカードのポイントがプラス10%、ノベルティをご用意いたします。その他、GINZA SIX別注商品や、フレグランスキャンドル Danlowを期間限定販売いたします。

【カテゴリー】 レディース

【出店状況】 リニューアル

【業態種別】 -

【オープン日】 3月17日(金)

<https://www.adore2005.com/>

A D O R E



▼the HOUSE/ザ ハウス [1F]

Awesome Golf オーサムゴルフ

「Awesome!」は「すごい!」や「カッコいい!」などの意味で使われる形容詞。GINZA SIX店では、「オシャレな街着をゴルフでも!」をテーマに、LAから“Students Golf”、NYから“Public Drip”、そして東京からは“エスプラス”をご紹介します。ストリートカルチャーからインフルエンスされたゴルフブランドを集めたカテゴリー《Awesome Golf》をお楽しみください。

【カテゴリー】 ゴルフ

【出店状況】 リニューアル

【業態種別】 -

【オープン日】 4月13日(木)

<https://www.thehousetokyo.com/>

<ART&CULTURE>「銀座から世界へ」。文化発信拠点としてアート&カルチャーの振興



国立新美術館



©国立新美術館

GINZA SIXは開業より、中央吹き抜けアートの展示やパブリックアートを通じて、アートに触れる楽しさや驚きなどを提供してまいりました。今後は文化発信拠点として、アート&カルチャーの振興をめざし、感性を刺激する新たな発見・体験の充実を一層図ってまいります。

2023年度より、独立行政法人国立美術館との取り組みをスタートします。その第1弾として、新しい文化の創造の場となることを目指して活動する国立新美術館との協業により、文化的価値の高いアート・カルチャーの体験を提供してまいります。

国立新美術館が毎年実施している学校招待プログラム「かようびじゅつかん」に、民間企業として初めて協賛、本年6月の「ルーヴル美術館展 愛を描く」と、秋の「イヴ・サンローラン展」の会期中に開催される「かようびじゅつかん」に参加いたします。休館日の美術館を学校のために開放するこのプログラムは、子どもたちが本物の作品とゆっくり向き合うことができる貴重な機会です。

GINZA SIXでは昨年度より、子ども向けのカルチャープログラム「SCUOLA GINZA SIX」をスタート、プログラムを通じて、アートに触れる楽しさや、子どもたちの創造性を育む時間を提供しています。未来を担う子どもたちに、より質の高い学びの機会をとという考えから「かようびじゅつかん」の参加にいたしました。

「かようびじゅつかん」概要

休館日の火曜日に、近隣地域の学校を美術館へ招待する「かようびじゅつかん」。無料開放された展示室で、子どもたちが他の観覧者に気兼ねすることなく作品と向き合い、感想を語り合うことができます。

国立新美術館概要

国立新美術館は、芸術を介した相互理解と共生の視点に立った新しい文化の創造に寄与することを使命に、2007年、独立行政法人国立美術館に属する5番目の施設として開館しました。以来、コレクションを持たない代わりに、人々がさまざまな芸術表現を体験し、学び、多様な価値観を認め合うことができるアートセンターとして活動しています。具体的には、国内最大級の展示スペース(14,000㎡)を生かした多彩な展覧会の開催や、美術に関する情報や資料の収集・公開・提供、さまざまな教育普及プログラムの実施に取り組んでいます。

<https://www.nact.jp>

(画像)「かようびじゅつかん」の様子

<ART&CULTURE> オリジナルポッドキャスト番組「銀座は夜の6時」リニューアル



昨年スタートしたGINZA SIXのオリジナルポッドキャスト「銀座は夜の6時 presented by GINZA SIX」が、新たにこの春リニューアル。昨年は、建築家、フォトグラファー、エッセイスト、空間デザイナーの方から、YouTuber、元サッカー日本代表選手まで、幅広いゲストが登場、26名のゲストが銀座でしか話せないトークを繰り広げました。

今回のリニューアルを機に、月4回配信、放送時間を20分に変更、より多くの方に聞いていただける番組を目指します。今後は、アート&カルチャーのクリエイターの方に加え、ファッション、ビジネス、スポーツ、エンターテインメントなど幅広くゲストをお迎えしていきます。

3月(リニューアル1回目)ゲストプロフィール

森岡督行(もりおか よしゆき)

1974年生まれ。森岡書店代表・作家。近著に『ショートケーキを許す』(雷鳥社)、『800日間銀座一周』(文春文庫)がある。資生堂『花椿』オンラインにて「銀座バラード」を、小学館『本の窓』オンラインにて『銀座で一番小さな書店』を連載中。森岡製菓としてお菓子のプロデュースも行なっている。

©文藝春秋



紋章上絵師 波戸場 承龍・波戸場 耀次(はとば しょうりゅう・はとば ようじ)

家紋を着物に手描きで入れる職人「紋章上絵師」の技術を現代に受け継ぎ、デジタルとの融合により家紋をデザインやアートへと昇華させる京源の波戸場承龍・耀次親子。粋とモダンをミックスさせたデザインを行い、国やジャンルを越えた活動は多岐に渡る。NYで発表された世界1台限定のFerrari Romaへの家紋デザイン提供/マクドナルド社「サムライマック」CM用家紋デザイン/著書本「紋の辞典」(雷鳥社)他



<LIFESTYLE> GINZA SIXのギフト図鑑 特別なあの人へあげる、センスを感じるギフトを選べるWEBマガジンがスタート



日頃の感謝や愛情を込めた、大切な人への贈りもの。あの人に気に入ってほしいから、センス良く使い勝手にも優れたものを選びたいーそんな思いをお手伝いする、GINZA SIXのギフト連載「Sincerely Yours ～想いをこめて～」がスタートします。第一弾では、作家・朝吹真理子氏のスペシャルエッセイとともに、新生活にふさわしい厳選ギフトをご紹介します。ライフスタイルアイテムを中心に、ジュエリー、ファッション、ビューティなどのカテゴリーから、おすすめのアイテムをピックアップします。相手の喜ぶ姿を思い浮かべながら、じっくりと吟味する時間もギフトの一部。オリジナリティ豊かなコレクションから、ぴったりの一品を見つけてください。

(画像左) WEBマガジンサイトイメージ

(画像右) 朝吹真理子氏によるエッセイイメージ

<ES(Employee Satisfaction - 従業員満足度)> コロナ禍を経て、ESを新たな形での推進



ESについては、厚生労働省も魅力ある職場づくりの一環として労働生産性向上や人材確保のための取り組みを呼びかけ、昨今注力する企業が増加しています。GINZA SIXでは、開業以来ES(Employee Satisfaction)に注力、従業員一人ひとりが“GINZA SIX”のプレゼンターという方針のもと、スタッフが主役となり働ける環境を整備し、GINZA SIXで働くことに誇りを感じてもらえるプログラムを店舗のスタッフを対象に設計しています。



感染症の拡大防止の観点から近年は対面イベントを見送っていましたが、今年度より店舗スタッフとの対面での勉強会やスタッフとの交流の場となる懇親会をリスタートします。従前とは異なり、広いバンケットルーム空間での開催など、コロナ禍を経て新たな形での開催を目指します。

(画像上) 店長会の様子

(画像下) 接客研修の様子

GINZA SIX 6周年プロモーション情報

<ART> カラフルなフラフープとLEDが織りなすオブジェが、6周年のエントランスを華やかに演出



GINZA SIX 1Fのエントランス空間で出迎える《Untitled (hula-hoop)》。色とりどりのフラフープと光、植物を用いた高さ4メートルの立体作品を手がけたのは、美術作家の鬼頭健吾氏。カラフルな色彩の作品を多く創る同氏の新しい作品は、美しい木に見立てた色彩豊かな作品。フラフープとLEDを使用し、木という有機物と融合した作品で、昼、夜で異なる表情をお楽しみいただけます。

<鬼頭氏によるコメント>

作品コンセプト

今回のGINZA SIXでの作品のテーマは、祝祭でしょうか。この作品は2004年頃から始まり、発展してきたものです。僕の基盤は絵画ですが、絵画からいかに「逃げるか」「逸脱するか」が動機で、平面を超えて「空間にドローイング」していく。その「描きたいという過剰なまでの衝動」の、更なる挑戦を銀座の真ん中でやるのは、解放感ある行為だし、ユーモアにもつながると思っています。それを見るひとに感じてもらえたら。

銀座で展示することの思い

アートの役割は、いい意味での「異和感」を作り出すことです。今回の作品では植物を使っています。植物はそれだけで美しい。それにいかに拮抗できるか。僕は絵画というものは極論すると「表面」しかない人工物だと考えているからです。植物を覆い尽くす作品のラインを追って行っても、移ろいがあるだけ。それは、都市を移動していく感覚に似ていると思います。

【作品名】 Untitled (hula-hoop)

【アーティスト名】 鬼頭健吾

【展示場所】 1F エントランス

【展示期間】 2023年4月1日(土)～5月7日(日)

【サイズ】 高さ4メートル×横3メートル

アーティストプロフィール

鬼頭健吾(きとう けんご)

1977年愛知県生まれ。名古屋芸術大学絵画科洋画コース卒業、京都市立芸術大学大学院美術研究科油画専攻修了。五島記念文化財団の助成を受けニューヨークに滞在、文化庁新進芸術家海外研修員としてベルリンでの活動歴がある。京都芸術大学で教授を務め、若手アーティストの育成にも力を入れている。

<http://kengokito.com>



<EVENT> ROOFTOP ART PARK produced by YOSHIROTTEN

GINZA SIX ガーデン(屋上庭園)に、グラフィックアーティストYOSHIROTTEN氏によるアートパークが登場。屋上の敷地にサステナブルなクッションを敷き詰め、座る、横たわるなど思い思いにくつろげる空間が広がります。また、アートに連動した音楽配信も予定、五感で初夏の心地よさをご堪能いただけます。

<YOSHIROTTEN氏によるコメント>

作品コンセプト

私たちは様々なもの、ヒト、文化と交差しています。この公園は銀座で一番高い場所で、空を見上げてゴロゴロしながら、想いにふけったり、大切なヒトと過ごしたり新たな出会いが起きたり。通り過ぎることから少し止まってみる。そんな新しい交差点のような場所を目指します。



- 【作 品 名】 Crossing Park
 【アーティスト名】 YOSHIROTTEN
 【展 示 場 所】 GINZA SIX ガーデン(屋上庭園)
 【展 示 期 間】 2023年4月1日(土)～5月31日(水)

YOSHIROTTEN(ヨシロットン)

東京をベースに活動するグラフィックアーティスト。グラフィック、映像、立体、インスタレーション、音楽など、ジャンルを超えた様々な表現方法での作品制作を行う。ロンドン、ベルリンでの個展を経て、2018年TOLOT heuristic SHINONOMEにて大規模個展『FUTURE NATURE』を開催。GASBOOKより作品集『GASBOOK33 YOSHIROTTEN』を発売。デザインスタジオ『YAR』代表。

www.yoshirotten.com



<伝統芸能> 6周年記念 能公演「蠟燭能」(入場無料)



GINZASIX開業6周年を記念して、源氏物語の一節から有名演目「葵上」を「蠟燭能」で公演いたします。舞台の周囲に設置された24本の蠟燭の灯の中で、揺らぐ灯りの中での観能をお楽しみいただけます。

- 【日 時】 2023年5月3日(水・祝) 13:00開場 14:00開演 16:00終演予定
 【場 所】 B3F 観世能楽堂
 【人 数】 約200名様
 【公演演目】 解説 武田宗典
 仕舞 「忠度」 山階彌右衛門
 狂言 「附子」 野村太一郎
 蠟燭能 「葵上」 勸世三郎太

※実際の蠟燭の灯ではなく、安全に考慮した照明器具を使用しています。

※蠟燭能は、古式「葵上」のみとなります。

主催:GINZA SIXリテールマネジメント株式会社/協力:一般社団法人観世会

お問合せ先 GINZA SIX総合インフォメーション

Tel: 03-6891-3390 (受付時間 10:30～20:30)

※ご入場には整理券が必要です。お一人様1枚限りです。

※整理券を5月3日(水・祝)11:00(予定)より、1階三原通り側(ローソン横)エントランス前にて配布いたします。

※お一人様1公演1回限り、定員に達し次第締め切ります。

※整理券は、全て指定席となります。

※3歳未満のお子様のご入場はご遠慮ください。

<地域貢献> 「FUJI-YAMA MID-NIGHT-FISHING」公開収録



GINZA SIX ガーデン(屋上庭園)にて、藤原ヒロシ氏とサカナクション山口一郎氏による人気番組「FUJI-YAMA MID-NIGHT-FISHING」(BSフジ/土曜25:00～25:55不定期放送)の公開収録を開催します。「FUJI-YAMA」は、藤原氏と山口氏のプライベートでの交流をきっかけに生まれた番組です。普段の2人の会話を覗き見するようなトークをお届けします。ご応募いただいた方の中から抽選で150組300名様をイベントにご招待します。

<https://www.bsfuni.tv/fuji-yama/pub/index.html>

- 【日 時】 2023年5月27日(土) 時間未定
 【場 所】 GINZA SIX ガーデン(屋上庭園)
 【参加人数】 (抽選)150組300名(予定)
 【参加方法】 応募期間:2023年4月1日(土)～4月30日(日)

GINZA SIXアプリ(入会費・年会費無料)に事前登録の上、応募用特設サイトURLよりご応募ください。

当選者の発表は、当選者のみにご連絡となります。

※天候により中止になる可能性がございます(小雨決行)。

出演者プロフィール**藤原ヒロシ(ふじわら ひろし)**

ファッションデザイナー/ミュージシャン/fragment design主宰 80年代よりクラブDJを始め、85年TINNIE PUNXを高木完とともに結成し、日本のヒップホップ黎明期にダイナミックに活動。90年代からは音楽プロデューサー作曲家、アレンジャーとして活動の幅を広げる。2011年より真心ブラザーズの倉持陽一とともにAOEQを結成し、その後猪野秀史、OKAMOTO'S、ユナ&ユウキ(CHAI)、渡辺シュンスケ(シュローダーヘッズ)、三浦淳悟(ペトロールズ)、番長(ワンダフルボーイズ)などのミュージシャンと新たなバンドスタイルでの演奏活動を継続的に行っている。またワールドワイドなストリートカルチャーの牽引者としての顔も持ち、ファッションの分野でも若者に絶大な影響力を誇り、主宰するfragment designや自身が関わる様々なコラボレーションは毎回世界規模での注目を集めている。



photo by JORGEN AXELVALL

山口一郎(やまぐち いちろう)

5人組バンド、サカナクションのボーカルを担当。2005年に活動を開始、2007年メジャーデビュー。文学性の高い歌詞と郷愁感あふれるフォーキーなメロディ、バンドのフォーマットからクラブミュージックのアプローチをこなすなど独自のスタイルを持つロックバンド。様々な受容性を持つ楽曲はリリースするたびに高く評価され、全国ツアーは常にチケットソールドアウト、出演するほとんどの大型野外フェスではヘッドライナーで登場するなど、現在の音楽シーンを代表するロックバンドである。第64回NHK紅白歌合戦に出場、第39回日本アカデミー賞にて最優秀音楽賞をロックバンド初受賞するなど、多様な活動を高い表現で実現し、評価されている。また、「ミュージシャンの在り方」そのものを先進的にとらえるその姿勢は常に注目を集め、近年では各界のクリエイターとコラボレーションを行いながら、音楽と様々なカルチャーが混ざり合うイベント“NF”を2015年スタートさせている。



Photo K.Kurigami

<地域貢献> SCUOLA GINZA SIX(スクオーラ ギンザ シックス) vol.5**<屋上庭園を散策して感じた事を版画で描こう！>蟹江杏氏によるワークショップ**

プロの版画家の蟹江杏氏と一緒に本格的な版画(ドライポイント)に挑戦します。版づくりからプレス機を使用した刷り作業、彩色の全てを体験、出来上がった作品は、簡易的な額に入れてお持ち帰りいただけます。屋上の自然とアートを通じて創造力を養います。

【日時】 2023年3月25日(土) ※雨天の場合は3月26日(日)
①10:00~11:30/②13:00~14:30/③15:00~16:30

【場所】 GINZA SIX ガーデン(屋上庭園)

【対象年齢】 6歳~10歳

【対象人数】 抽選18組36名様(お子様と保護者を2名1組とし、各回6組)

【参加方法】 GINZA SIXアプリ(入会費・年会費無料)に事前登録の上、専用サイトから応募(公式WEBサイトに掲載)

※応募期間は、後日公式WEBサイトまたはGINZA SIXアプリにて告知予定です。

講師プロフィール**蟹江杏(かにえ あんず)**

画家。東京都出身。「NPO法人3.11こども文庫」理事長。「自由の森学園」卒業。ロンドンで版画を学ぶ。美術館、全国の百貨店や画廊で個展を開催。絵本やエッセイなど著書多数。2022年7月、水素カー「MIRAI」(長野トヨタ)のラッピングカーの為に作品を提供。BMWジャパンのエコカー「i3」のラッピングや、JTA(日本トランスオーシャン航空)のイリオモテヤマネコ・デカール機、洋菓子舗ウエスト など企業とのコラボレーションも多数手がけている。東日本大震災以降は、被災地の子どもたちに絵本・画材を届ける活動や、福島県相馬市に絵本専門の文庫「にじ文庫」を設立。文部科学省復興教育支援事業としてのコーディネーターをつとめるなど、全国の子どもたちとアートをつなぐ活動を行なっている。

現在は「にじ文庫」「おひさま文庫(千葉・東金市)」を運営。姉妹文庫として、「みず文庫(福島・白河市)」がある。被災地でおこなった子どもたちのための活動は、震災後10年の特番として、NHK BS1スペシャル「10年目の約束〜福島の子どもたちが描いた”未来”〜」で紹介された。また、これまでのすべての活動に対し雑誌「pen」クリエイターアワード2021「日本と世界を変えていく、2021年最も輝いた7組」で審査員特別賞を受賞。2020年より「SDGs市民社会ネットワーク」と連携、アートがどのようにSDGsに参加し役立てるかを、様々な分野のアーティストたちと共に実施している。2023年、絵本「ハナはへびがすき(福音館書店)」が「第14回ようちえん絵本大賞」を受賞。

<https://atelieranz.jp/>

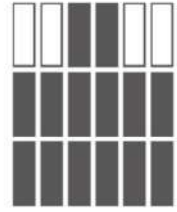


「SCUOLA GINZA SIX」(スクオーラ ギンザ シックス)概要

「Enrich your creativity」をテーマに各界で活躍する一流の講師陣による、カルチャー・アートを中心としたワークショップ。講師陣とのインタラクティブなセッションを通じて、次世代を担う子どもたちの感性を刺激し、新たな価値を創出します。
※SCUOLAとはイタリア語で「学校」という意味です。

これまでのワークショップ

- ・2022年6月 フラワークリエイター 篠崎恵美氏によるドライフラワーのワークショップ
- ・2022年7月 東京藝大大学院在学中アーティスト 東弘一郎氏による紙パイプ建築のワークショップ
- ・2022年7月 メディアアーティスト・東京藝大教授 八谷和彦氏によるVR技術を活用したワークショップ
- ・2022年10月 アーティスト・清川あさみ氏による造花を使用したワークショップ



SCUOLA
GINZA SIX

<DX EVENT>

e スポーツ×リアルメタバース



©SCARZ IDENTITY
V CHARACTERS

ラグジュアリーブランドやストリートブランドとのコラボレーションも相次ぎ、新たなカルチャーとして注目が高まるeスポーツ。eスポーツの熱狂を国内外の大会で好成績を収めるeスポーツチーム「SCARZ」を通して、リアルメタバースで体感いただくイベントを開催いたします。

会場ではVRゴーグルを装着しての特別体験(有料)など、GINZA SIXに行かなければ得られない新たな刺激をリアルメタバースで提供します。

※リアルメタバースとは、リアルな空間をメタバーステクノロジーで拡張させることで、全く新しい価値をつくり出すものです。

- 【日 時】 2023年4月21日(金)～23日(日)
【場 所】 6F 銀座 蔦屋書店内 GINZA ATRIUM
【主 催】 J.フロントリテイリング株式会社

GINZA SIX ART NEWS

▼Artglorieux GALLERY OF TOKYO [5F]

『一原点回帰 Answer— 裕人礫翔 展』

箔工芸作家・裕人礫翔(ひろとらくしょう)の最新個展が開催。月に魅せられ、20年に渡り生まれ育った京都・西陣の箔面の表現方法で月をテーマに作品を作り続けた氏が自身の出発点に立ち返って新たな作品を生み出した。類を見ない箔のアートを確立してきた氏による作品は、タイトルにつけられた「Answer」のとおり、人生の答えが出せるような世界が鑑賞できます。

【開催期間】 2023年4月20日(木)～4月26日(水)



GINZA SIX NEWS

期間限定ポップアップショップ

<ファッション>

▼DESTREE/デストレー [3F]

今春、日本に本格上陸したパリ発のファッションブランド「DESTREE(デストレー)」のポップアップストアが3月29日(水)より開催。ブランドの代表的なバッグやハット、ジュエリーを手にとることができる。現代アーティストへのオマージュが込められた、高質な素材と西洋のクラフツマンシップを掛け合わせたアイテムがラインアップ。カラフルで都会的、ユニークで洗練されたパリジャンスタイルが体感できる。

【展開期間】 2023年3月29日(水)～4月25日(火)

<https://destree.com/>



▼MARK & LONA/マークアンドロナ [4F]

“ラグジュアリーゴルフ”をコンセプトに米ロサンゼルスで誕生し、今年でブランド15周年を迎えるMARK & LONA(マーク&ロナ)が春夏コレクションを集めたPOP UPを開催。テーマは、El Dorado/エルドラード。16世紀に埋蔵された宝を求めて探検家たちが探し回った伝説の地「黄金郷」をテーマに、煌びやかなシルバー&ゴールドなどを随所に織り込んだ神々しいコレクションを展開。

【展開期間】2023年4月5日(水)～5月9日(火)

<https://www.markandlona.com/>



<GINZA SIX 基本情報>

【TEL】03-6891-3390 (GINZA SIX総合インフォメーション 受付時間10:30～20:30)

【ADDRESS】〒104-0061 東京都中央区銀座6丁目10-1

【HP】<https://ginza6.tokyo/>

□営業時間 ショップ・カフェ(B2F～5F)10:30～20:30 レストラン(6F、13F)11:00～23:00

※一部の店舗、レストランは営業時間が異なります。

※詳細は公式ホームページをご確認ください。

※営業日時については、変更になる場合がございます。

□休館日 不定休

□アクセス 東京メトロ 銀座線・丸の内線・日比谷線「銀座」駅から地下通路にて直結
駐車場完備(お買い上げ金額に応じたサービス有)

<本件に関する報道関係者からのお問合せ先>

GINZA SIX PR 事務局 (株式会社サニーサイドアップ内)

担当: 松野(090-9836-4769)、戸田(080-7255-9952) FAX:03-5413-3050 E-MAIL: ginzasix_pr@ssu.co.jp